

会議資料

高齢者の交通事故発生状況について
(平成25年中)平成26年2月
広島県警察本部交通部
交通企画課

1 交通事故の発生状況⇒ 発生件数, 死者数, 負傷者数とも減少

区分	平成25年	平成24年	前年対比	
			増減数	増減率
発生件数	14,370件	14,849件	△ 479件	△ 3.2%
死者数	116人	125人	△ 9人	△ 7.2%
負傷者数	18,167人	18,486人	△ 319人	△ 1.7%

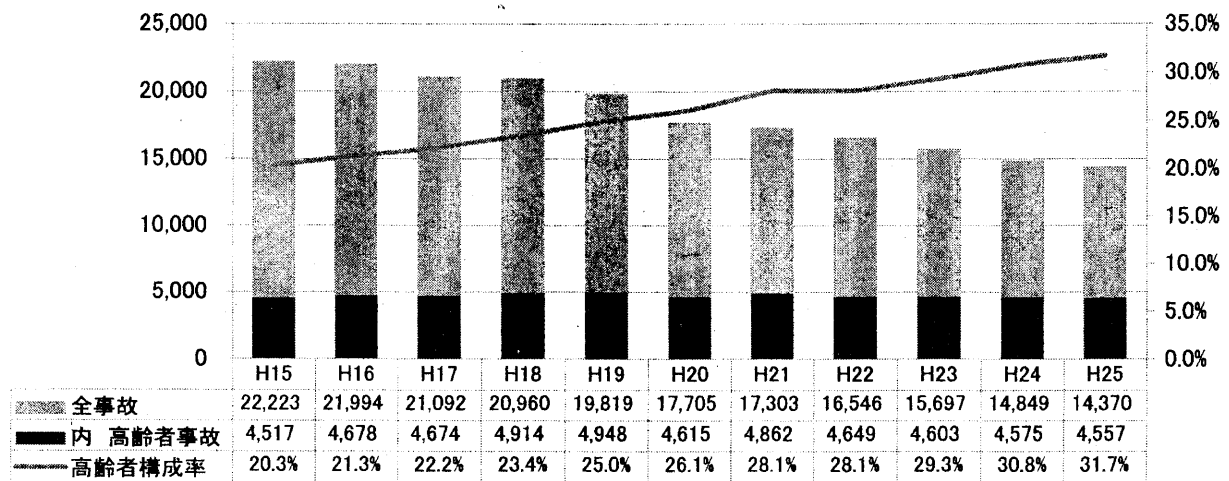
高齢者事故は減少したが, 死者数は増加

高齢者	事故件数(1当+2当)	平成25年	平成24年	前年対比	
				増減数	増減率
	事故件数(1当+2当)	4,557件	4,575件	△ 18件	△ 0.4%
	死者数	67人	64人	3人	4.7%

※ 第9次広島県交通安全計画の目標(平成27年までに交通事故死者数90人以下(内高齢者40人以下))

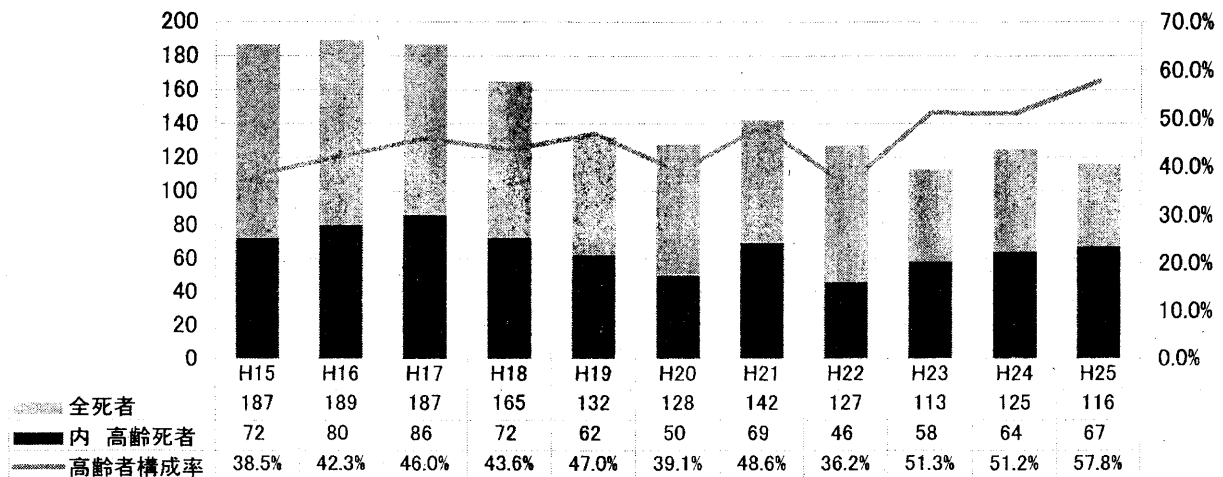
2 高齢者事故の推移

⇒ 高齢者が関係する事故はほぼ横遣いであるが, 高齢者事故の構成率が2年連続で30%を越えた。



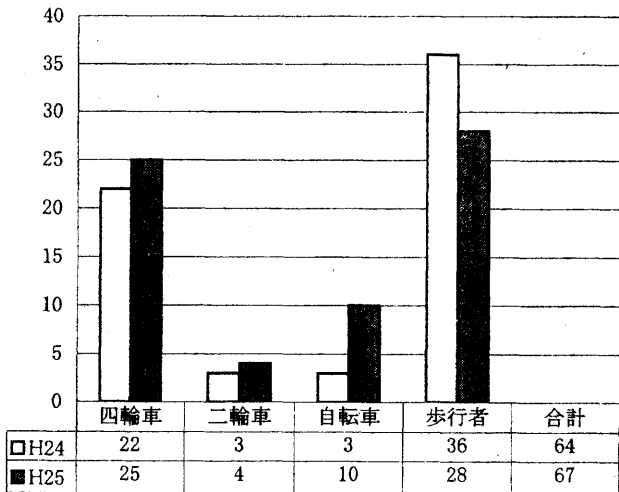
3 高齢死者の推移

⇒ 平成23年以降連続して, 高齢死者の構成率が50%を越えている。

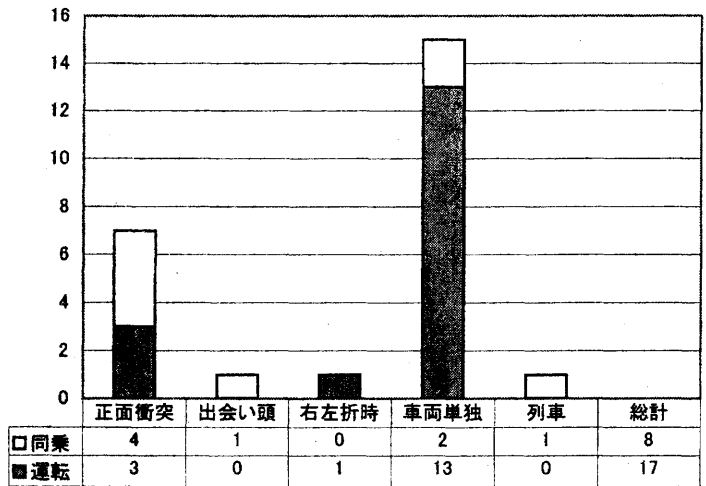


4 高齢者死亡事故の特徴

(1) 状態別 ⇒ 歩行者41.8% 四輪車37.3%
四輪は増加

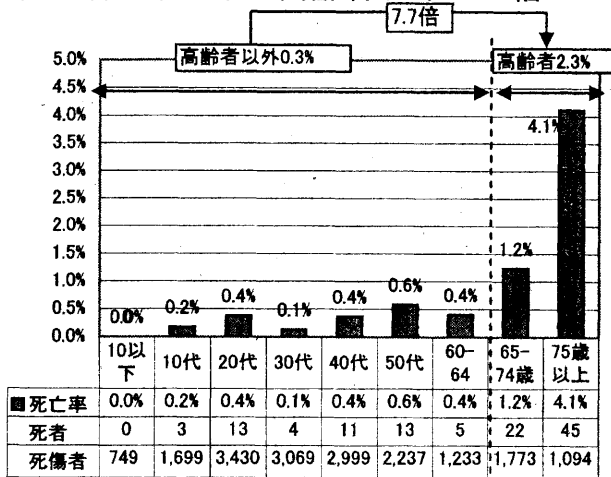


(2) 事故類型(四輪)
車両単独が最も多く、次いで正面衝突



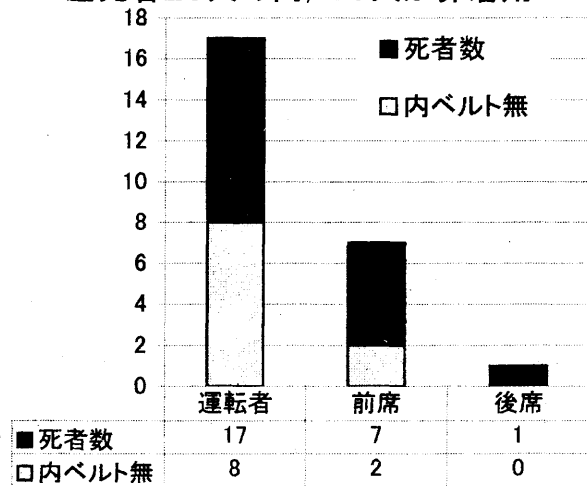
(3) 高齢者の致死率

高齢者の致死率は高齢者以外の7.7倍

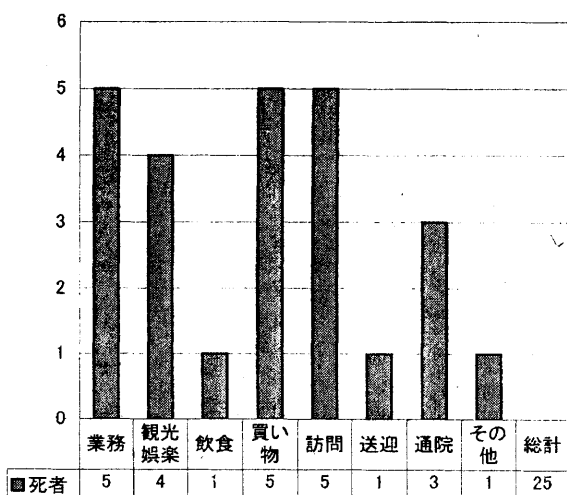


(4) 乗車位置別シートベルト着用状況

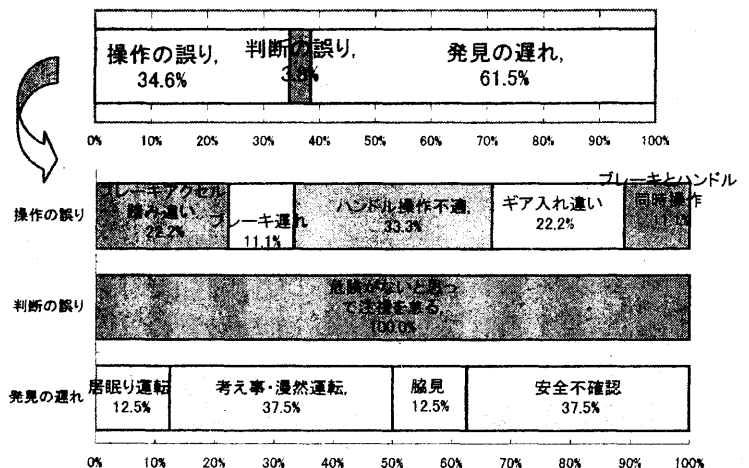
⇒ 全死者25人の内、10人が非着用



(5) 四輪乗車中死者の通行目的



(6) 高齢ドライバーに多い事故原因
年齢層が高くなるほど誤操作の割合が高い
全ての年代で発見の遅れが半数以上



※事故の主原因となった高齢ドライバー(26人)